



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社メドレー 上場取引所 東  
コード番号 4480 URL <https://www.medley.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 浩平  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 河原 亮 (TEL) 03-6372-1265  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	21,642	39.6	3,484	13.9	2,358	△7.2	3,731	15.6	2,323	6.8
2023年12月期第3四半期	15,501	48.0	3,059	78.6	2,541	103.9	3,226	130.2	2,175	127.2

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,344百万円( 6.6%) 2023年12月期第3四半期 2,198百万円( 129.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第3四半期	円 銭 71.57	円 銭 71.11
2023年12月期第3四半期	67.47	66.57

(注) 1. EBITDA=(営業損益+減価償却費・のれん償却費・株式報酬費用)

2. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年12月期第3四半期については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年12月期第3四半期	百万円 41,125	百万円 19,795	% 48.0
2023年12月期	25,430	17,637	69.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 19,738百万円 2023年12月期 17,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,400	43.2	4,640	36.7	2,950	10.8	4,440	18.2	3,000	16.9	92.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 株式会社グッピーズ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期3Q	32,738,600株	2023年12月期	32,738,600株
2024年12月期3Q	254,435株	2023年12月期	384,191株
2024年12月期3Q	32,462,708株	2023年12月期3Q	32,240,687株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、人材プラットフォーム事業及び医療プラットフォーム事業双方において、医療や介護の提供体制を担う人材の不足や財源問題が継続しました。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間における人材プラットフォーム事業の売上高は、人材採用システム「ジョブメドレー」において顧客事業所数及び従事者会員数が引き続き順調に増加したことに加え、オンライン研修システム「ジョブメドレーアカデミー」においても顧客事業所数が伸長したことにより増収となりました。医療プラットフォーム事業においても、各プロダクトの顧客への導入が堅調に推移したことにより、利用医療機関数が増加し、増収となりました。売上高が伸長する一方で、事業規模拡大に向けて人材プラットフォーム事業におけるマーケティング活動やオンライン研修システムへの成長投資、並びに医療プラットフォーム事業における人員の増強を継続したことに加え、医療介護福祉で人材サービス事業等を提供する株式会社グッピーズを連結子会社化する等、中長期的な成長を見据えた取り組みを積極的に実施しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,642百万円（前年同四半期比39.6%増）、EBITDA3,484百万円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益2,358百万円（前年同四半期比7.2%減）、経常利益3,731百万円（前年同四半期比15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,323百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

なお、人材プラットフォーム事業においては、当社グループのサービスを利用して入職した求職者が求人事業所に入職した日付を基準として売上高を計上しているため、一般的に年度の始まりとされている4月に入職が増え、同月に売上高が偏重する傾向があります。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

#### ① 人材プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間においては、利便性の向上に向けたサービスサイトの機能改善を継続的に実施し、人材プラットフォーム事業全体の顧客事業所数は前連結会計年度末比17.2%増の39.7万件となりました。「ジョブメドレー」における応募数は引き続き増加しており、掲載求人数についても前連結会計年度末比9.8%増の39.6万件となりました。また、2024年第2四半期より株式会社グッピーズの「グッピー求人」及び「グッピー新卒」が加わり、業績の更なる拡大に貢献しております。

以上の結果、セグメント売上高は15,918百万円（前年同四半期比43.0%増）、全社共通費用配賦前のセグメント利益（営業利益）は6,121百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。

#### ② 医療プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間において、医療プラットフォーム事業全体の利用医療機関数は前連結会計年度に引き続き増加し、前連結会計年度末比13.2%増の1.8万件となりました。主たる要因としては、調剤薬局向けシステムの「Pharms」の機能拡充に伴うシステム活用機会の増加により、既存顧客内での利用店舗の増加が進んだこと等が挙げられます。

以上の結果、セグメント売上高は5,151百万円（前年同四半期比25.9%増）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は106百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）266百万円）となりました。

#### ③ 新規開発サービス

当第3四半期連結累計期間において、米国における人材採用システムの事業拡大に向けた投資を実施しました。また、介護施設検索サイト「介護のほんね」においては、コンテンツ拡充及び紹介可能施設数の拡充のための積極的な営業活動を継続的に実施しました。

以上の結果、セグメント売上高は575百万円（前年同四半期比103.9%増）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は208百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）230百万円）となりました。

なお、当該セグメント損失（営業損失）が発生している要因としては、米国事業において、事業拡大及びオペレーション整備のための投資をしていることが挙げられます。

なお、セグメント間取引消去額及び各セグメントに配賦されていない全社共通費用の総額は3,447百万円(前年同四半期比72.6%増)です。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は24,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,735百万円増加いたしました。これは現金及び預金が3,406百万円、未収入金が1,370百万円、売掛金が916百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は16,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,965百万円増加いたしました。これは無形固定資産が10,750百万円増加した一方で、投資その他の資産が767百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は41,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,694百万円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,333百万円増加いたしました。これは1年内返済予定の長期借入金が2,464百万円、未払金が426百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は11,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,203百万円増加いたしました。これは長期借入金が8,465百万円、繰延資産負債が1,713百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は21,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,537百万円増加いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は19,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,157百万円増加いたしました。これは取締役、執行役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に伴い、資本剰余金が56百万円増加し、自己株式が87百万円減少したこと、新株予約権の行使による自己株式の処分に伴い、資本剰余金が273百万円、自己株式が299百万円減少したこと、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動により資本剰余金が305百万円減少したこと、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより2,323百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,354	18,760
売掛金	1,612	2,528
商品及び製品	265	283
仕掛品	18	8
未収入金	1,371	2,741
前払費用	251	344
その他	92	48
貸倒引当金	△34	△47
流動資産合計	18,932	24,668
固定資産		
有形固定資産	515	498
無形固定資産		
ソフトウェア	344	365
のれん	1,491	6,332
顧客関連資産	1,359	7,247
その他	4	4
無形固定資産合計	3,199	13,949
投資その他の資産	2,775	2,008
固定資産合計	6,491	16,456
繰延資産	6	0
資産合計	25,430	41,125

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	317	404
1年内返済予定の長期借入金	731	3,196
未払金	1,522	1,949
未払費用	685	680
契約負債	781	1,043
預り金	500	702
未払法人税等	1,060	833
その他の引当金	165	241
その他	466	514
流動負債合計	6,232	9,566
固定負債		
長期借入金	928	9,393
繰延税金負債	400	2,114
その他	231	255
固定負債合計	1,560	11,763
負債合計	7,792	21,329
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	47	47
資本剰余金	14,812	14,289
利益剰余金	3,802	6,125
自己株式	△1,118	△732
株主資本合計	17,543	19,730
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8	7
その他の包括利益累計額合計	8	7
非支配株主持分	85	56
純資産合計	17,637	19,795
負債純資産合計	25,430	41,125

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,501	21,642
売上原価	5,125	7,648
売上総利益	10,376	13,993
販売費及び一般管理費	7,835	11,635
営業利益	2,541	2,358
営業外収益		
受取利息	0	2
受取和解金	866	1,741
助成金収入	6	7
その他	28	16
営業外収益合計	901	1,767
営業外費用		
支払利息	7	40
株式交付費償却	22	5
業務委託料	176	319
その他	9	29
営業外費用合計	216	394
経常利益	3,226	3,731
特別利益		
関係会社株式売却益	46	—
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	47	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	3,273	3,730
法人税等	1,090	1,384
四半期純利益	2,183	2,345
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,175	2,323



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	2,183	2,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	15	△0
その他の包括利益合計	15	△0
四半期包括利益	2,198	2,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,190	2,322
非支配株主に係る四半期包括利益	8	22

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当第3四半期連結累計期間において、2023年2月27日開催の取締役会の決議に基づき、2023年4月13日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を実施し、資本剰余金が29百万円増加し、自己株式が73百万円減少しております。

また、新株予約権の行使による自己株式の処分に伴い、資本剰余金が304百万円、自己株式が358百万円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が14,987百万円、自己株式が1,328百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当第3四半期連結累計期間において、2024年2月22日及び2024年3月26日開催の取締役会の決議に基づき、2024年4月11日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を実施し、資本剰余金が56百万円増加し、自己株式が87百万円減少しております。

また、新株予約権の行使による自己株式の処分に伴い、資本剰余金が273百万円、自己株式が299百万円減少しております。

さらに、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動により資本剰余金が305百万円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が14,289百万円、自己株式が732百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	11,126	4,092	268	15,487	—	15,487
その他の収益	—	—	14	14	—	14
外部顧客への売上高	11,126	4,092	282	15,501	—	15,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	11,129	4,092	282	15,504	△2	15,501
セグメント利益又は損失(△)	5,035	△266	△230	4,538	△1,997	2,541

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,997百万円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報  
(資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社GCMを連結の範囲に含めております。「新規開発サービス」においては、株式会社GCMの株式取得に伴い発生したのれん、識別した無形固定資産が増加しております。

なお、当該セグメント資産の金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、株式会社バンブーの薬局事業を承継しております。当該事象によるのれんの増加額は「医療プラットフォーム事業」で236百万円であります。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式の取得により株式会社GCMを新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は「新規開発サービス」で287百万円であります。

なお、当該事象によるのれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,914	5,151	404	21,470	—	21,470
その他の収益	—	—	171	171	—	171
外部顧客への売上高	15,914	5,151	575	21,642	—	21,642
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	—	3	△3	—
計	15,918	5,151	575	21,645	△3	21,642
セグメント利益又は損失(△)	6,121	△106	△208	5,806	△3,447	2,358

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,447百万円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報  
(資産の著しい増加)

中間連結会計期間において、株式会社グッピーズを連結の範囲に含めております。「人材プラットフォーム事業」においては、株式会社グッピーズの株式取得に伴い発生したのれん、識別した無形固定資産が増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、株式会社エイチームウェルネスのラルーン事業を承継しております。当該事象によるのれんの増加額は「医療プラットフォーム事業」で491百万円であります。

また、株式会社グッピーズの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は「人材プラットフォーム事業」で4,838百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	292百万円	555百万円
のれん償却費	173百万円	487百万円

## (企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

(株式会社GCM)

2023年9月1日に行われた株式会社GCMとの企業結合について、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、顧客関連資産に138百万円、繰延税金負債に43百万円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額382百万円は、94百万円減少し、287百万円となっております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、無形固定資産の償却額が3百万円増加し、のれん償却費が0百万円、法人税等が1百万円減少したことにより、販売費及び一般管理費が3百万円増加し、営業利益及び経常利益、並びに税金等調整前四半期純利益がそれぞれ3百万円減少し、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が1百万円減少しております。

## (重要な後発事象)

(取得による企業結合)

(1)企業結合の概要

当社は、2024年9月30日開催の取締役会において、2024年10月1日を効力発生日として、株式会社オフショアの発行済株式を100%取得することを決議いたしました。また、2024年10月1日に株式取得に関する手続きが完了いたしました。

## ①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社オフショア
事業の内容	医療分野におけるパッケージシステム開発・導入・運用、及び関連付帯サービス、病院・生活者間におけるエンゲージメント支援等

## ②企業結合を行った主な理由

株式会社オフショアは、有床病院・診療所向けの予約システム「@link」、及び、患者向けサービス統合管理アプリ「アットリンクアプリ」等を展開しております。同社の「@link」は、集患から出産後(卒院後)までの一連のプロセスを統合管理することができます。

本件により、当社グループの電子カルテ「MALL」及び「CLINICSカルテ」とのクロスセル、また総合医療アプリ「CLINICS」や女性向け体調管理アプリ「LaLune」とのオンライン診療連携等のシナジーが見込まれるものと判断しております。今後、シナジーを創出することで、医療プラットフォームの提供価値の拡大を推進してまいります。

## ③企業結合日

2024年10月1日

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## ⑤結合後企業の名称

株式会社オフショア

## ⑥取得する議決権比率

企業結合日に取得する議決権比率 100%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式の取得により、株式会社オフショアの議決権を100%取得するためであります。

## (2)被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,577百万円
取得原価		2,577百万円

(注)実際の取得原価は、株式譲渡契約に定められた価格調整により確定いたします。

## (3)主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

## (4)発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (5)企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

## (取得による企業結合)

## (1)企業結合の概要

当社は、2024年11月14日開催の取締役会において、2025年1月6日を効力発生日として、株式会社ASFON TRUST NETWORKの発行済株式を100%取得することを決議いたしました。

## ①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ASFON TRUST NETWORK
事業の内容	介護施設入居希望者の介護施設への紹介事業等

## ②企業結合を行った主な理由

株式会社ASFON TRUST NETWORKは、「みんかい」事業の展開を通じて、病院・居宅介護支援事業所等の紹介元と、入居者及びそのご家族からの高いブランド認知と信頼を築いてまいりました。

本件により当社グループは、退院調整サービスの強化を図ります。具体的には、当社の退院調整システム「れんけーさん」を含む、退院調整サービスを機能拡張し、病院のみならず、株式会社ASFON TRUST NETWORKの紹介元である居宅介護支援事業所に対しても利用促進してまいります。また、当社の介護施設紹介Webサービスと対面でのサービスの提供を強みとする株式会社ASFON TRUST NETWORKの「みんかい」事業により、多様な顧客のニーズへ対応してまいります。

## ③企業結合日

2025年1月6日（みなし取得日 2025年1月1日）

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社ASFON TRUST NETWORK

⑥取得する議決権比率

企業結合日に取得する議決権比率 100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式の取得により、株式会社ASFON TRUST NETWORKの議決権を100%取得するためあります。

(2)被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,300百万円
取得原価		1,300百万円

(3)主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4)発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5)企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。